

Get a Wide Perspective

名古屋市立向陽高等学校 2年 阪本 舞香

1. 私の研修の目標

私の将来の夢は、外務省で働くことです。今回のシドニー派遣では、親善大使としてオーストラリアの方とたくさん交流することで、そのための知見を深めていきます。本研修では、日本の文化だけではなく、日本人の特性や思考についても伝えるなかで、彼らとの交流を通じて、自分の視野を広げたいと考えています。

2. 事前の準備

当該研修の前に、グループで事前研修を行いました。事前研修では、英語での自己紹介から始まり、日本とオーストラリアの歴史や文化、時事問題等についてグループ発表をしました。発表の際は、現地で質問されることを想定し、取り組みました。私は、シドニー市庁舎で代表スピーチを行うことになっていたため、外国人講師の方に、そのための原稿のチェックもしていただきました。

3. シドニーでの体験

シドニーの研修では、想像もつかなかった日々を過ごしました。その中でも、特に印象に残ったことが、二つあります。一つ目は、現地の高校と日本の高校の違いです。現地の高校はホームルームクラスがなく、生徒は授業ごとに教室を移動していました。これは、日本の大学の様に生徒が個々で授業を組んでいるからです。また、学内には、様々な民族的背景を持った人がいました。これは、日本では考えられないことです。授業中、先生や生徒どうしが話すときは英語ですが、同郷の生徒達の会話においては、母国語で話をするところから、中国語や韓国語など違う言語が飛び交っていました。更に、日本語やフランス語など英語以外の語学の授業がありました。こうした背景から、日本人であっても何の隔たりもなく、同じ高校生の一員として温かく受け入れられました。

二つ目は、ホームステイです。私たちが滞在したジャンバルーは、とても広大な自然のある場所でした。ホストマザーは、自分の家と同じ様に過ごすように言いました。ステイ先では乗馬をしたり、野生のカンガルーを見に行ったり、貴重な体験をしました。また、ジャンバルーの様な美しい景色は今までに見たことがなかったものでした。

今回のメインイベントである市庁舎訪問は、良い機会となりました。代表スピーチでは、市議会議員の方、姉妹友好都市委員会の方々に感謝の気持ちを伝えるだけでなく、この交流が続いて欲しいという私達の思いを伝えました。責任のある役割であり、貴重な経験をさせていただきました。

4. 研修の成果と今後の課題

<成果>

今回の研修を経て、今まで私が知らなかった世界を知ることができました。6450km離れた場所には全く違う日常があるのです。こんなにも違う毎日を過ごしている世界中の人達が協力し合っていくことによって、グローバル化は進んでいくのだということが分かりました。私も派遣団の一員として、現地の方と交流することで人的ネットワークを築くことができました。その過程を通じて、自分の視野は格段に広がったと思います。

<課題>

私は、今回の研修を通して、自らの慣習や経験にもとづいた狭い世界でしか物事を考えていないということに気づきました。これからは、いろいろな物事に対して、柔軟で、かつ多様な目線で考えられるようにしていきたいと思います。



シドニー市役所での代表スピーチ

オーストラリアでの出会い

名古屋市立向陽高等学校 2年 伊藤 唯

1. 私の研修の目標

自分の話す英語が、海外でどのくらい通じるのか試してみたいという思いがあったので、現地の人たちと積極的に会話をして、語学力・コミュニケーション能力の向上を図ることを目標としました。また、外国の文化や価値観に触れて自分の視野を広げ、将来につながる経験にしたいと思いました。

2. 事前の準備

英単語アプリなどを利用して、リスニング力・語彙力の向上に努めました。また、自分の身の回りのことや、名古屋の食文化について現地で紹介できるよう、工夫してポートフォリオを作りました。

3. シドニーでの体験

今回の派遣は、私にとって初めての海外体験で、毎日が驚きと発見の連続でした。

Cherrybrook Technology High School への体験入学では、まず、その授業風景に驚きました。生徒たちは、先生が話している最中でも積極的に挙手をし、質問をしたり自分の意見を発言したりしていました。通常の授業でも、まるで討論のように意見を言い合う場面もあり、その意欲と雰囲気にとただ驚かされました。私自身も授業を「受ける」というより「参加する」という感覚で臨むことができ、楽しかったです。



Cherrybrook の友達と

また、学校内を歩いていると、たくさんの生徒たちが声をかけてくれました。中には「こんにちは」と日本語で挨拶したり、日本や日本語について知っていることを話してくれたりする生徒もいて、日本への関心が高いことがわかり、嬉しくなりました。

オーストラリアで過ごした12日間では、3校への体験入学、ホームステイ、市役所表敬訪問などを通じて、素晴らしい文化・人々・自然に出会うことができました。様々な人種・民族が共存するオーストラリアでの出会いは、本当に貴重で特別なものばかりでした。

4. 研修の成果と今後の課題

<成果>

コミュニケーションをとるうえで一番大切なのは、相手に伝えたいという気持ちと、自分から積極的に話しかけたり質問したりする勇気だと気付きました。また、海外で英語を使ってみたいという夢が叶い、現地の人たちと英語でコミュニケーションがとれた喜びを味わえたことは、大きな自信になりました。

<課題>

私は、現地の人の話すスピードになかなかついていけず、ネイティブとの会話の難しさを痛感しました。今後は、英語力向上に向けて今まで以上に努力を重ね、自分の英語に自信をつけていきたいと思えます。そして、今回学んだオーストラリアの魅力を少しでも多くの人に伝え、海外へ目を向けるきっかけとなることを願います。



ホームステイ先の馬と